

特集

めったに見られない?!

# 展覧会の舞台裏を特別レポート

イルフ童画館では現在「版画家の眼 川上澄生と武井武雄」と銘打った企画展を開催中です。その前は「竹久夢二の世界 武井武雄の憧れ」が行われていました。こうした企画展は、どのように計画され、実際に開かれるのでしょうか。美術館は、未知の世界への入口。情熱や感動がつまっているステキな場所ですが、貴重な作品を公開したり、保管したり、貸し借りしたり…という美術館、そして展覧会は、どんな工夫や苦勞に支えられているのでしょうか。今回は、展覧会の会場では見ることのできない、その舞台裏に迫ります。





# 展覧会は「どうしてつくられる」

## 企画展って？

自館の所蔵品を展示する展覧会を常設展と呼ぶのに対して、よそからコレクションを借り受けて構成するのが企画展です。どんなテーマ設定で、どんな展開をするのか…。話題性・集客力だけでなく、美術館としての検証的アプローチ、つまりは学術的に質も重視して、そのバランスを取っていくのが、企画力の見せどころです。イルフ童画館は、岡谷市出身の童画家「武井武雄」の童画、版画、刊本作品などを中心に、子ども心にふれる真の芸術を紹介する市立の美術館であり、そうしたコンセプトをもとに、童画や絵本、武井とのかかわりなどにスポットを当て、年間5本ベースの企画展、さらにはワークショップやイベントの内容が計画されていきます。

## 【最近の企画展】



真珠まりこ絵本原画展  
平成24年6月29日(金)  
～9月11日(火)



梶山俊夫展  
平成24年9月14日(金)  
～11月13日(火)



竹久夢二の世界 武井武雄の憧れ  
平成24年11月16日(金)～平成25年1月29日(火)



## イルフ童画館、なつ…

現在開催中の「版画家の眼」は、川上澄生と武井武雄の接点に注目し、版画という共通項で、常設展の枠をも取り外した画期的な「テーマ展」です。2階にある企画展示室だけではなく、3階の武井武雄作品展示室にも会場を広げて、子どもへのまなざし、身近な暮らしへのまなざし、文明開化や西洋趣味、遊びや玩具、空想の世界など、さらには版画年賀状交換会「樺の会」や刊本作品友の会での交流に、同時代を生きた武井と川上のふしぎなまでの同調と似て非なる個性を見だし、芸術性、作品の魅力と比較して楽しめる、興味深い構成になっています。



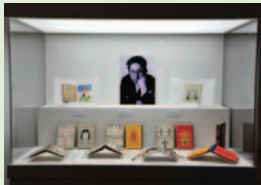


# いよいよ、展示替え！

イルフ童画館の場合、企画展と企画展のスケジュールの谷間は、通常わずかに2日。そのうちの1日で展示替えを行います。

## ビフォー

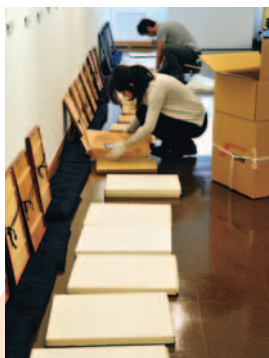
「夢二展」閉幕翌日。朝の時点では、2階の企画展示室、3階の展示室とも、展示内容は前日のまま。まずは、額の揺れなどを感知する安全と防犯のためのスイッチを切り、作品を動かせる状態にして作業をスタートします。



## しまう



壁から外した作品は、あらかじめ準備された座布団のうえに、大切に降ろされます。



夢二作品は、箱を照合のうえ、1点ずつ確認して梱包。さらに段ボールにつめて、返却に備えます。



黙々とみんなで…。壁はだいぶすつきりとしてきました。

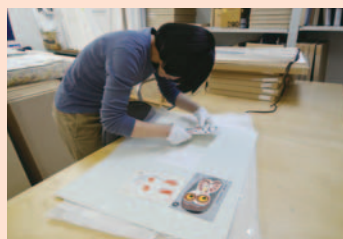
3階。おなじみの武井作品も降ろして、版画の作品にかけ替えます。



展示ケースのなかも慎重に。



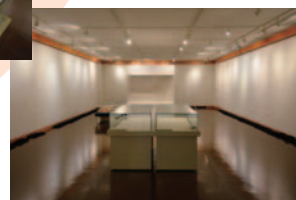
すっかり空になったケースは、撤収、移動！



武井作品は、収蔵庫の作業台で額から外して、1点ずつ専用の引き出し(桐のダンス)にしまいます。



ケースもこの通り…



## 準備



### 展示プラン

どの展示会の場合でも、展示替えの前までに、展示プランができていなくてはなりません。作品の選定をし、展示場所に合わせて、どこにどの作品を展示するかを想定。設計図のような展示プランを用意するのです。

作家や作品の背景までを研究して作品を選び、最終的に展示プランを作るまでには、2か月ほどを要するそうです。この間に、展示会のポスターやチラシも準備します。どんな雰囲気にするか、タイトルの文字に使う書体は？配置は？など、学芸員が思い入れたっぷりに制作します。



### 倉庫から展示室へ

川上作品は、10日ほど前に、搬入口から倉庫へと到着済み。館の環境に慣れたところで荷が解かれ、スタッフによって慎重に取り出された絵は、1枚1枚資料と見比べながら入念にチェック。展示プランに合わせて準備され、出番を待っていました。







平行か垂直か間隔はどうか…1作品ごとに確認しながら、丁寧に慎重に取り付け作業。



壁面の金具や展示ケースなどの準備も着々と…

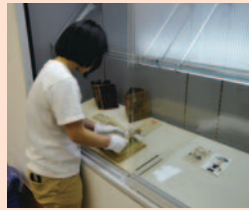


展示プランに合わせて、額座布団、作品を並べます。防犯センサーを額裏に取りつけるのも忘れずに!

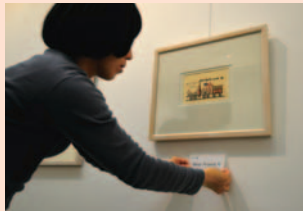
## 設営現場



「今後も長く美しい状態を保ち、すばらしい芸術として引き継がれていくように」と、作品の取り扱いには心をこめています。



展示作業の7つ道具が満載のワゴンから、それぞれ必要な道具を持ち出して。



イルフ童画館では、専門業者を頼むことなく、展示替えのすべてを、こうしてスタッフが協力し、手づくり感満載で作り上げていきます。

よりよい空間演出をめざす、スタッフの試行錯誤を経て、位置が決まると、題名や制作年の書かれたプレート(なんとマグネットでワンタッチ!)もつけられていきます。

作品が見やすいか、展示順やくくりの意味がわかりやすいか、見る人の流れがスムーズか、などを考えながらの作業。ぎりぎりまで時間をかけ、「ちょっと窮屈だから、横にずらそう」「色のバランスを考えて、入れ替えよう」など、ときには大胆に、ときにはミリ単位で、位置などを調整します。



…というわけで、展示替えの日は、山岸館長以下一同、作業しやすいカジュアルスタイル。



照明は、展示作業の仕上げ。可動式の足場に乘ったスタッフが、スポットライトをひとつずつ調整していきます。ほかのスタッフは、足場を支えたり移動したり、作品への光の当たり方や見え方を確認していきます。



スポットライトは、額のうえあたりを照らすように…。美術品のなかでも、日本画や水彩画、また古い作品は、とくに光に弱いので、細心の注意を払うのだそうです。

子どもたちへのメッセージである童画作品とは違い、武井が自らの芸術性を追求した版画に出会えるのも今展の魅力です。日本における抽象表現の先駆者、恩地幸四郎の影響を受け、カンディンスキーの世界を日本の版画に置き換えたような作品は、とても新鮮。鳥の連作への流れなど、大人が楽しめる内容です。所蔵品が川上作品をバックアップする新感覚のコラボ企画。意欲あふれる企画展へ、ぜひお出かけください。



同一ケース内に2人の作品が並び

## 完成!(アフター)



子どもの目線を意識した低めの展示は、“童画館”ならではの





ミュージアムショップは、美術館の楽しみのひとつですね。定番といえばポストカードですが、ラムラム王の切手シートや岡谷市観光協会推奨の手ぬぐいなど、新しい企画ものも大健闘、人気があります。川上の版画グッズも充実。売れ行きは上々です。

今回はテーマ性にこだわり、それに合わせて展示方法も大きく変えてみました

「版画は、少し地味なイメージもありますが、素材的な味わいやぬくもりなど、独特の感触がありますよね。好きがやみいなくて、何かを感じてもらえればと思います。武井はかつて、西堀の双燈社で版画講習会を開きました。地元で版画制作の火が、さらに熱くともるように：そんな願いを込めて、楽しいワークショップも企画しています。版画を体験してから作品を見ると、大変さがわかったり、感じ方も違うんじゃないでしょうか」と、担当学芸員の齋藤さん。



「版画は、少し地味なイメージもありますが、素材的な味わいやぬくもりなど、独特の感触がありますよね。好きがやみいなくて、何かを感じてもらえればと思います。武井はかつて、西堀の双燈社で版画講習会を開きました。地元で版画制作の火が、さらに熱くともるように：そんな願いを込めて、楽しいワークショップも企画しています。版画を体験してから作品を見ると、大変さがわかったり、感じ方も違うんじゃないでしょうか」と、担当学芸員の齋藤さん。

## 武井武雄の世界 イルフ童画館情報

市内在住・在学の小・中学生、高校生は無料です

問合せ ● ☎24-3319

【休館日】木曜日

【開館時間】午前9時～午後6時

【入館料】一般800円・中高校生400円・小学生200円

【年間入館券】一般2,000円・高校生1,000円

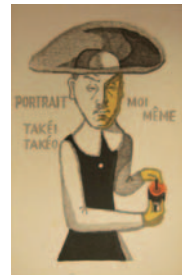
## 版画家の眼 川上澄生と武井武雄

会期：4月16日(火)まで



棟の会20周年記念  
自画像(川上) 1954年

英語教師をしていた川上澄生と童画家の武井武雄は、版画家というもう一つの顔を共通して持っていました。創作を通じて交流があった2人の子どもたちへのまなざし、暮らしへの眼を探る展覧会です。明治から昭和へと同時代を生きた2人の版画作品をお楽しみください。



棟の会20周年記念  
自画像(武井) 1954年

【イベントのお知らせ】 会場：1階はらっぱ

### ★銅版画#5(要申込み)

日時…3月3日(日) 午前10時～午後4時

材料費…800円 定員…15名

今までこの講座に参加したことがある人は、制作したものにアレンジを加えて、初めての人は基本のエッチングに挑戦します。

### ★木版画をつくろう〈2日連続講座〉(要申込み)

日時…3月9日(土)・10日(日) 午前10時～午後5時

材料費…500円 定員…10名

2～3色の多色木版にチャレンジします。2日間連続でご参加ください。

### ★消しゴムはんこをつくろう(要申込み)

日時…3月16日(土) 午前10時～正午

材料費…100円 定員…15名

木版は力が必要で大変という人も、お手軽に楽しめる消しゴム版画ではんこを作ってみましょう。

### ★和紙孔版版画にチャレンジ(要申込み)

日時…3月17日(日) 午前10時～午後3時

材料費…500円 定員…15名

特殊な和紙を使って簡単にできる、コロジオン版画を制作します。

### ★熱血!イルフ童画館書道部(進級編)(要申込み)

日時…3月24日(日) 午後2時～4時 定員…15名

新年度の決意や目標を筆で書いてみよう。

### ★蔵書票作品集をつくろう(要申込み)

日時…3月30日(土)

①午前10時30分～午後1時30分

②午後2時30分～5時30分

材料費…2,500円 定員…①・②とも10名

図版と文字で本の所蔵者を示す小さな紙、蔵書票。武井や川上も蔵書票に凝りました。日本豆本協会会長の田中菜さんの指導で、自分だけの蔵書票をつくります。

### ★〈トークイベント〉川上澄生と武井武雄

日時…3月31日(日) 午後2時～4時

定員…先着50名

川上澄生と武井武雄の両者を知る関根蒸治さんから、2人の人となりや思い出をお聞きます。



# 第7回 武井武雄記念 イルフビエナレー 日本童画大賞 紙上作品展

「日本童画大賞」は、武井の「童画」の精神を継承発展させ、新しい児童文化の創造をめざして、2年に1度開催しています。第7回は、一般の部に105点、初めて実施された、「こどもの部」に92点の応募がありました。受賞作が決定した2月には、同館「はらっぱ」で作品展が開かれました。一部ですがご紹介いたします。

## 【一般の部】日本童画大賞「トイレさん」 たけよ い 竹与井かこさん(合作)



## 【一般の部】優秀賞(信毎賞)

### 「ともだち」

かにさわ たみえ  
蟹沢 民恵さん



## 【一般の部】準優秀賞

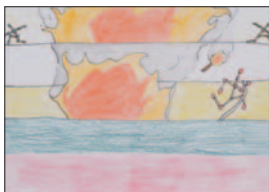
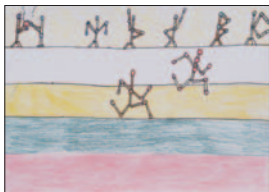
### 「ボンボとヤージュ あつあつ島の冒険」

ジマ  
ザ・キャビンカンパニーさん(合作)



## 【こどもの部】ラムラム賞「マッチ競走」

かとう しゅん  
加藤 峻くん(田中小6年)



## 【こどもの部】イルフ賞「雪だるま」

さいじょう いつき  
西條 樹くん(田中小6年)



棒人形のイメージが、マッチに発展して、ストーリーができました。工夫したのは、ゴールシーンの設定で、自分ではわりと満足していましたが、賞をもらえるとは思っていませんでしたので、びっくりしました。友だちが「おもしろい!」と読んでくれたら、と思います。



文字を入れずに、絵だけの絵本として表現してみようというのも挑戦でしたが、ものごたも自由に考えられたので、作るのが楽しかったです。最後の場面を、ほんわかと喜ばしい感じに仕上げられたところが、とくに気に入っています。受賞できて、とてもうれしいです。

